

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-15
補助事業名 平成23年度建設機械分野における国際標準化補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本建設機械施工協会（事業実施時点での旧名称：社団法人日本建設機械化協会）

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

建設機械分野では、日本は技術的に先進的な地位を占めるが、国際標準化分野では、欧米各国が法令との関係もあり大きな地位を占めているので、日本の技術の国際標準への反映の度合いを拡大して地位を高めていく必要があり、特に国内基準と国際標準との関係に関しては、日本の意見を国際標準に反映させる取組が不十分であった。

このため、補助を受けて、国際標準化機関ISOの建設機械に関する分科委員会の幹事国として、また、国際作業グループを運営するなどISO国際規格作成への運営面での関与を強め、また、日本担当の国際規格作成を図り、また、その他の重要な案件に国際作業グループに参画するなど国際標準化への取組を高めることにより、ハイブリッド形建設機械など日本の先進的な技術の国際標準への反映の度合いを拡大し、また、低炭素型建設機械の認定など日本の国内基準・規格・実情の国際規格への適切な反映を図り、建設機械産業の一層の発展を図るとともに、安全・環境などの社会的課題の対策に寄与する。

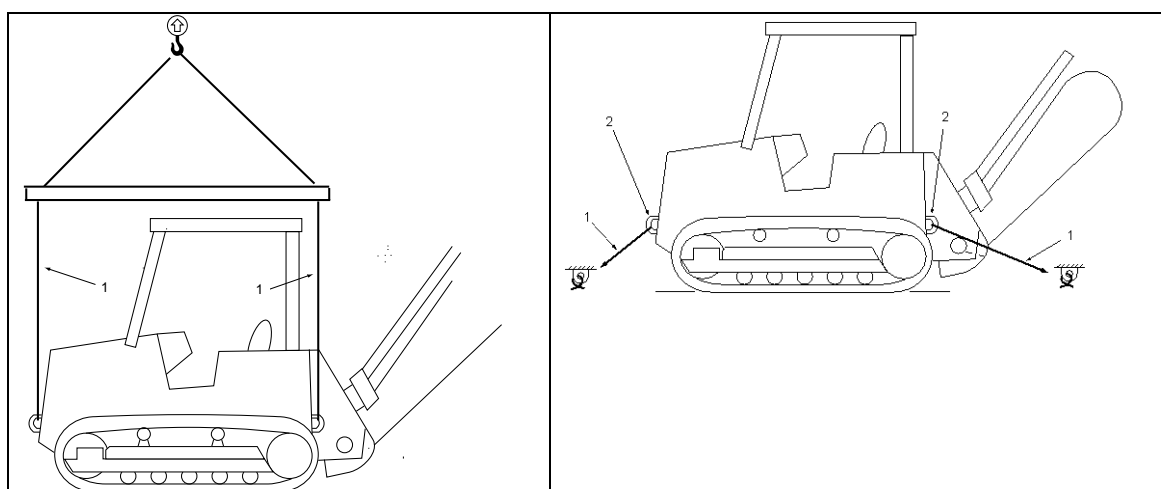
(2) 実施内容

① 建設機械分野ISO幹事国業務及び国際標準化

国際標準化機関ISOのTC 127（土工機械）/SC 3（機械特性・電気及び電子系・運用及び保全）分科委員会幹事国として各担当国と連携、電子制御機能安全のISO技術仕様書TS 15998-2を最終段階に進め、運転員の教育ISO 7130改正を承認投票に進め、機械の灯火類に関するISO 12509改正は幹事国として関与して国際WGでの検討を図るなど機械の安全のISO標準化を一定前進させた。特に、日本が国際WG主査を務める機械輸送安全のISO 15818（つり上げ及び固縛箇所）は国際WG会議を開催して意見調整した。



(平成24年2月ロンドンでの会議開催)



(ISO 15818で機械の輸送安全を意図するつり上げ及び固縛箇所のイメージ)

また、別にISO 8811（ローラ及びランドフィルコンパクタ用語及び仕様項目）改正は国際作業グループISO/TC 127/SC 4/WG 3に案文配付して各国意見待ちで、最新の機種種の普及への寄与を図る意図であるが現状中間状況にある。

② 国際規格原案等の調査作成

国際標準化機関ISOにおける国際規格作成に関して、各対応委員会を組織するなどし、取引公正のための用語及び仕様項目関係では、CDAM 7135（油圧ショベル）追補の各案文を後方超小旋回形油圧ショベルなど日本の技術を反映しつつ審議作成するなどし、日本担当以外でも、ISO 3450（車輪式機械制動装置）、ISO 15817（遠隔操縦安全要求事項）など重要案件に意見提出し、国内基準、日本の技術の反映を図った。更にISO/TC 127/SC 1/WG 8（公道走行設計要求事項）に専門家を派遣して日本の国内基準、技術の反映を図り、また、ISO/TC 127/SC 1/WG 6（エネルギー使用試験方法）など他の国際WG会議に、延べ数十人を派遣して日本の基準、技術の反映を図った。

2 予想される事業実施効果

① 建設機械分野ISO幹事国業務及び国際標準化

- ハイブリッド機械などに関連するISO規格などの作成を支援して、機械の国際的な普及に寄与し、間接的にはエネルギー資源の節減に寄与する。
- ローラ及びランドフィルコンパクタの用語及び仕様項目に関するISO 8811規格に最新の機種を反映させることにより、それら機種の国際的な普及に寄与する。

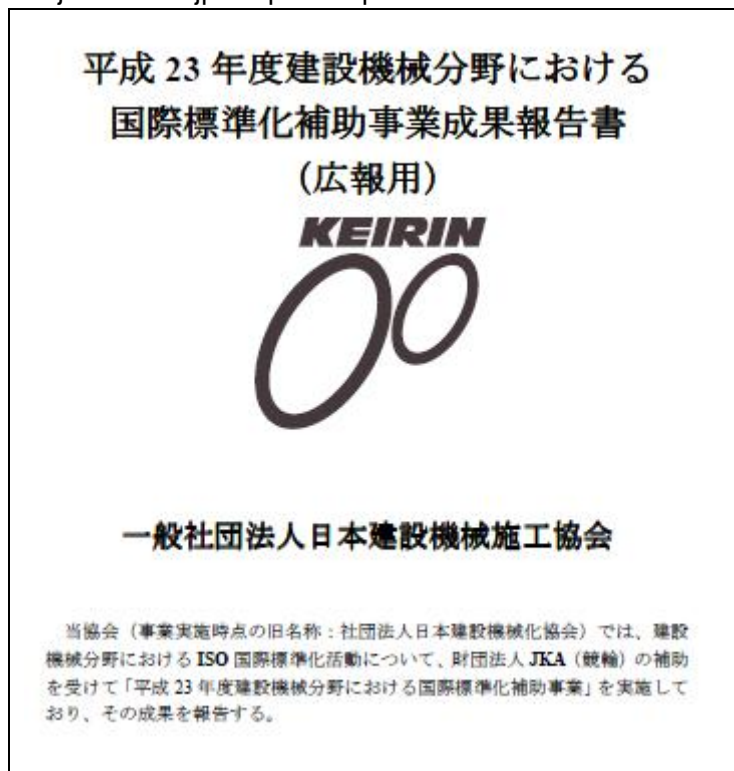
② 国際規格原案等の調査作成

- 建設機械関連の国際標準化で、特にISO 20474など安全性向上に関するもの、また、ISO/TS 11152など環境対策の進展に関するものに日本の建設機械関係者の意見の反映を図り、建設機械の安全性向上、環境対策の進展に寄与すると共に、日本の建設機械製造業の国際的な発展に寄与する。

3 本事業により作成した印刷物等

- 平成23年度建設機械分野における国際標準化補助事業成果報告書

URL <http://www.jcmanet.or.jp/iso/pdf/3.1.pdf>




● 「建設機械及び建設施工の標準化活動－最近の活動状況」

標準部会活動報告

建設機械及び建設施工の標準化活動－最近の活動状況
[前回シンポジウム(2010-11-10)以降の活動]

2011-11-30(金)～2011-12-1(木)
「平成 23 年度建設施工と建設機械シンポジウム」
における配付資料

(過年度シンポジウムで実施の部会報告が、今年度はプログラムの都合で実施できないため、それに代えて資料配付)
(当協会では、ISO 国際標準化活動について、JKA (競輪) の補助を受けて「平成 23 年度建設機械分野における国際標準化補助事業」を実施している。)

KEIRIN


0 はじめに：標準化をめぐる背景状況と今後の展開方向
1 国際標準化－活動結果及び活動状況
1.1 ISO/TC 127 土工機械専門委員会対応
1.2 ISO/TC 195 建設用機械及び装置専門委員会対応
1.3 ISO/TC 214 昇降式作業台専門委員会対応
1.4 活動体制
2 国内標準化－活動結果及び活動状況
2.1 JIS 原案作成
2.2 JCMAS 審議作成
2.3 活動体制

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本建設機械施工協会（イッパンシャダンホウジンニホンケンセツキカイセコウキョウカイ）

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号（機械振興会館）

代表者： 会長（代表理事）辻 靖三（ツジ セイゾウ）

担当部署： 標準部（ヒョウジュンブ）

担当者名： 西脇 徹郎（ニシワキ テツオ）

電話番号： 03-5776-7858

FAX： 03-3432-0298

E-mail： jcmastd@jcmamet.or.jp

URL： <http://www.jcmamet.or.jp/>

建設機械分野ISO国際標準化URL： <http://www.jcmamet.or.jp/iso/index.html>